

品 番	適 合 ラ ン プ	器具重量
Y A X 3 5 7 1 1	N H T 1 1 0 ・ L S	1 7 . 4 K g
Y A X 3 5 7 1 2	N H T 1 8 0 ・ L S	1 9 . 5 K g
Y A X 3 5 7 1 3	N H T 2 2 0 ・ L S	1 9 . 5 K g
Y A X 3 5 7 1 4	N H T 2 7 0 ・ L S	2 1 . 9 K g
Y A X 3 5 7 1 5	N H T 3 6 0 ・ L S	2 2 . 8 k g

* 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は専門の工事業者へ依頼して下さい。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ランプは器具・安定器との適合とランプの使用制限を確認の上、使用してください。
ランプの破裂・火災の原因となります。
- 器具を改造しないで下さい。 感電・火災・落下の原因となります。
- 壁面・天井面以外の取り付けはしないでください。感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格±6%）・周波数以外の電源で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
- トンネル灯専用器具です。直射日光の当たる場所では使用しないでください。
振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。 落下・感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- 電源ケーブルは器具搭載の防水グランドに適合するものを使用して下さい。
感電・火災の原因となります。

適合ケーブル外径

φ10.5～φ12.5mm

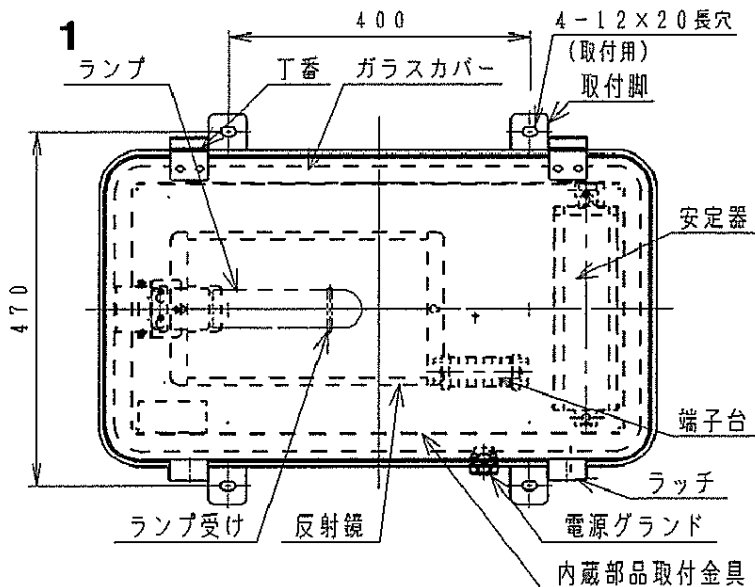
- 周囲温度が、-10～40℃以外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。

警告

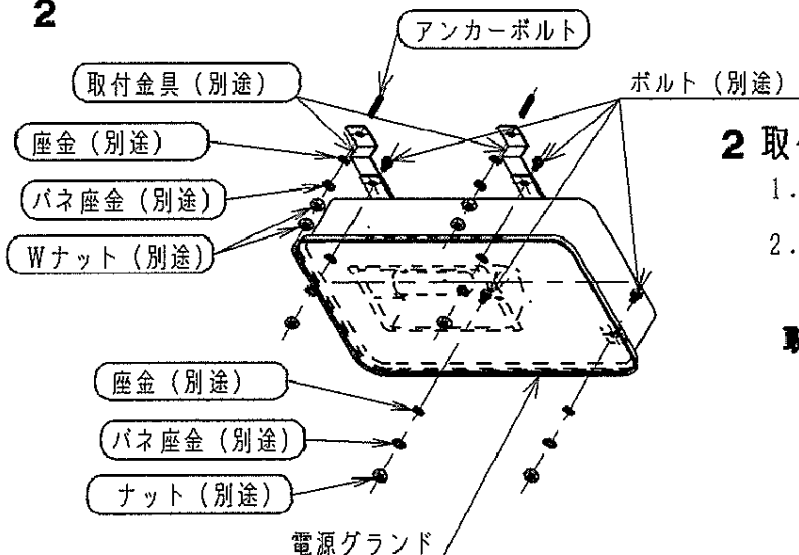
施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1 取り付け前の確認

- 左記表示寸法にあわせて器具取り付け用の金具及びボルト等を準備してください。
この取付金具及びボルトは質量に十分耐えるよう強度を確保してください。
(器具質量は別表参照)
不備がありますと器具落下の原因となります。
- 電源ケーブルは予めご指定されたものを必ずご使用ください。
また、電源線の接続は圧着端子を使用し、端子台に接続します。
(端子ビスはM4です。圧着端子は必ずM4のものを使用してください。)
不備がありますと感電・火災の原因となります。



2

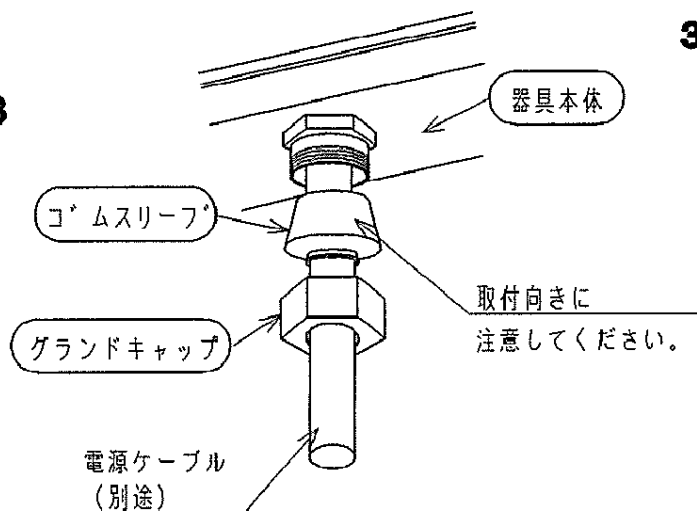


2 取付金具を使用し本体を取付ける

1. 取付金具と本体の取付脚をM10ボルトで取付ける
2. 壁面のアンカーボルトに取付金具をパネ座金、座金ワッシャー、ナットを用いて取り付ける

取り付けに不備がありますと落下の原因となります。

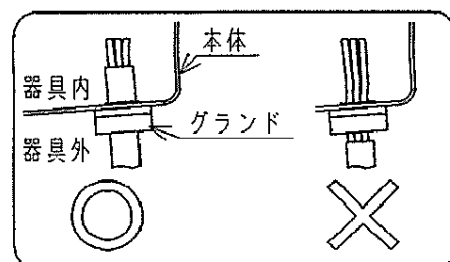
3



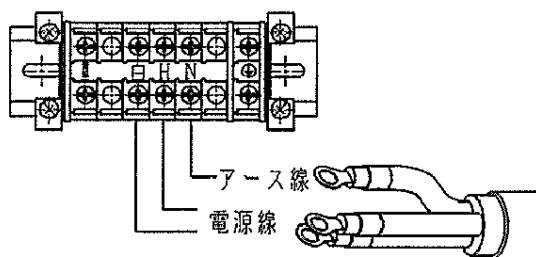
3 電源ケーブルを入線する

電源ケーブルを電源グラウンドのキャップ、ゴムスリーブに通し、本体と確実に締め付けてください。
キャップの適正締め付けトルクは、2.5~2.9 N・mです。
ケーブルが引き抜けない事を確認してください。
締め付けが不完全の場合、防水効果を損ない、感電・火災の原因となります。

器具内にケーブルの外被が出ている状態で電源グラウンドを確実に締め付けてください。
(右図参照)



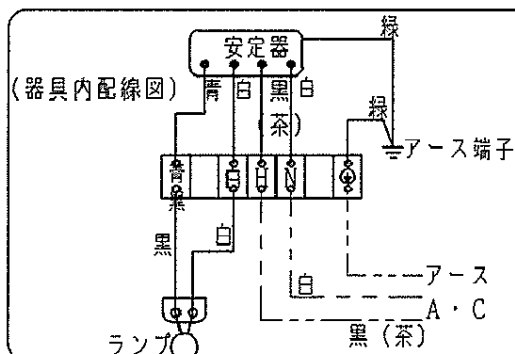
4



4 電源線を接続する。

電源線の接続はすべて圧着端子を使用する。結線は左記参照。(端子台のビスはM4です。圧着端子は必ずM4のものを使用してください。)

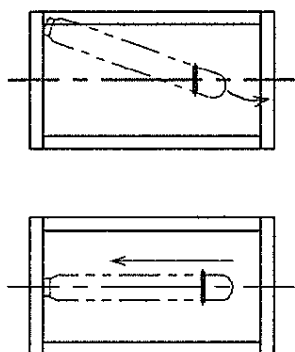
電源線の配線が反射板に接触しないように施工する。
不備がありますと、感電・火災の原因となります。



器具内配線(補修用)は左図参照

配線が線かみしないように施工する。
電源線の配線が反射板に接触しないように施工する。
不備がありますと、感電・火災の原因となります。

5



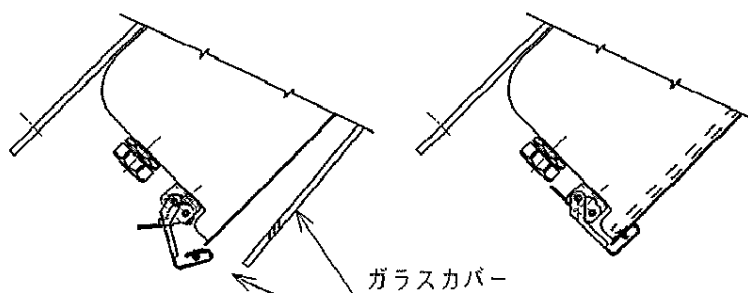
5 ランプを取付ける。

ランプのガラス管側からランプ受けにランプ全体が反射板に収まるまで通してください。左図参照

ランプ全体が収まりましたら、ソケット側へ引き込みソケットに装着してください。

不備がありますと、感電・火災の原因となります。

6

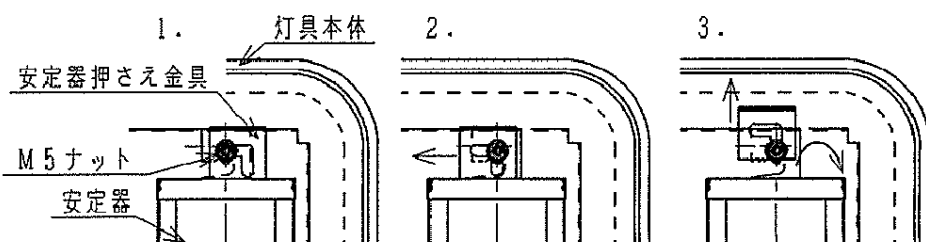


6 ガラスカバーを閉める

ガラスカバーを開けて、ラッチで確実に固定してください。

固定が不十分ですと防水効果を損ない、
感電・火災・落下の原因となります。

安定器を交換する



1. M6ナットを緩めてください
2. 安定器押さえ金具を左にずらします
3. 安定器押さえ金具を上にはずらした後安定器右下へ移動させ取り外してください。

工事店様へ

お客様の施設の安全で便利な保守のために、施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いします。

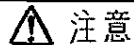
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しないで下さい。感電・火災・落下の原因となります。
- 異常を感じたら、すぐに工事店に修理を依頼して下さい。
異常状態のまま使用されますと感電・火災の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、ランプが完全に冷めてから行ってください。
感電・やけどの原因になります。
- ランプは本体表示のものを使用してください。間違った種類、ワット数のものを使用するときは火災の原因となります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 器具本体、枠に著しい腐食及び腐食により穴があく等、異常が生じた場合は、すぐに器具を交換してください。
器具内配線に焼けがある及びひび割れがある等、異常が生じた場合はすぐに器具を交換して下さい。
感電・火災の原因となります。

■ 保証について

1: 保証について

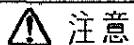
この商品の保証期間は1年間です。安定器は3年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2: 保証書について

保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

3: 補修性能部品（電気部品）について

弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。



注意

- ・器具の清掃について…本体外殻を清掃する際は、本体カバーがきっちりとしまっていることを確認して行ってください。
清掃は水を使用して行い、乾いた布で拭き取ってください。シンナーやベンジンでふいたりしないでください。変色・変質・腐食の原因となります。
- ・ランプ交換について…交換ランプは、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行ってください。（ナショナルランプをご使用ください）
カバーを開ける際、ドライバー等の鋭利な工具を使用しないでください。
パッキンの破損やガラスの欠けにより防水効果が損なわれ、感電・火災の原因となります
- ・点灯中や消灯直後は高温なので、絶対に触れないでください。やけどの原因となります。
- ・消灯直後はガラス枠が開かない場合があります。器具内温度が下がれば開ける事ができます。
- ・ランプ交換等により、ガラス枠を開閉する際には、取扱説明書に従い確実に行ってください。併せて各部の緩みなどをご確認ください。不完全な場合、浸水による漏電の原因となります。

品番	電圧	入力電流	消費電力	ランプ電力
YAX35711	415	0.354A	136W	110W
	460	0.315A		
YAX35712	415	0.57A	225W	180W
	460	0.51A		
YAX35713	415	0.67A	258W	220W
	460	0.6A		
YAX35714	415	0.79A	305W	270W
	460	0.71A		
YAX35715	415	1.05A	400W	360W
	460	0.94A		